



ごあいさつ

理事長 川邊俊一



(元警察庁情報通信局長)

— 建設業法改正と交通信号施設工事業界の今後 —

会員の皆様におかれましては、平素より交通安全施設の整備・維持管理にご尽力いただき、交通の安全と円滑の確保に多大な貢献をされていることに、心より敬意を表します。

さて、技能者の高齢化や担い手不足、資材価格の高騰、働き方改革への対応など、建設産業が抱える課題は年々深刻さを増しております。交通信号機工事を担う我々の業界においても状況は同様であり、将来を見据えた対応が必要となっております。

こうした状況を背景として、令和6年に建設業法の改正が行われ、令和7年にかけて順次施行されていることはご存じのとおりです。今

回の改正は、建設業を持続可能な産業としていくための重要な制度改革であり、技能者の処遇改善、適正な工期確保、資材価格変動への対応、さらにはICTの活用による生産性向上などを柱としています。

改正内容の中でも特に重要とされるのが、技能者の処遇改善を目的とした「標準労務費制度」の導入です。中央建設業審議会が技能者に支払われるべき労務費の基準を作成し、その適正な確保を促す仕組みが整備されました。これにより、労務費を十分に考慮しない見積りや、不当に低い請負代金による契約の抑制が求められることになりました。技能者の処遇改善は、担い手の確保という観点からも極めて重要な課題であり、業界全体として真摯に向き合っていく必要があります。

また、今回の改正では建設業の生産性向上が大きなテーマとして掲げられています。建設業は現場ごとに条件が異なるため、従来は個別対応の側面が強い産業でしたが、担い手不足が深刻化する中で、ICT活用や施工方法の合理化を通じて、限られた人材で効率的に施工を行う体制の整備が求められています。交通信号施設工事の分野においても、そうした体制の整備を後押しする工法や材料の標準化を進めていくことの重要性が、更に高まっていくものと考えております。

交通安全施設は、全国共通のインフラでありながら整備を都道府県警察が担っているため、工法や材料、施工仕様などが地域ごとに異なる場合も少なくありません。しかし、そうした差異は、施工管理、職能者教育、資材調達等の面で、効率性のばらつきを生じる要因となります。そのため、一定の標準化を図ることが重要な課題となるものと思われれます。

また、工法や材料の標準化は、ICTの活用や施工管理のデジタル化を進めるうえでも大きな意味を持ちます。施工手順や仕様が整理されることにより、施工データの共有や施工管理の効率化が進み、結果として、安全性や品質の向上にもつながることが期待されます。

会員各社におかれましては、既に、建設業法改正の趣旨を踏まえた方策を講じられているところですが、契約や施工管理のあり方について改めてご確認いただくことにより、制度への適切な対応を一層進めていただくことが肝要と考えます。

当協会といたしましても、会員企業の皆様が新たな制度に円滑に対応できるよう情報提供に努めるとともに、本業界の課題について検討を進めてまいりたいと考えております。

今後とも、会員各社のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年度交通信号工事士等技能検定試験のご案内

令和8年度の技能検定試験は、9月13日（日）に実施いたします。

試験開催地は、札幌市・仙台市・東京都・名古屋市・大阪市・広島市・福岡市の7都市となります。

資格名	受験資格・実務経験
交通信号技士	不要
交通信号工事士	交通信号施設に係る「施工・点検業務」に関し4年以上
交通信号設計士	交通信号施設に係る「調査・設計業務」に関し8年以上又は「交通信号技士」若しくは「交通信号工事士」の資格取得後4年以上
交通信号監理士	交通信号施設に係る「施工・点検業務」に関し8年以上又は「交通信号工事士」の資格取得後4年以上
交通信号保守診断士	交通信号施設に係る「保守点検・診断業務」に関し8年以上又は「交通信号工事士」の資格取得後4年以上

●受験申込期間：令和8年6月1日～7月10日

●受験料（税込）

資格名	会員	非会員
交通信号技士	7,700円	11,000円
交通信号工事士	9,900円	13,200円
交通信号設計士	11,000円	14,300円
交通信号監理士		
交通信号保守診断士		



▲
技能検定
案内

申請方法等は、ホームページに掲載しておりますので、資格をお持ちでない方、また、現在資格をお持ちの方は上位資格を受験していただければ幸いです。

令和8年度技能検定資格更新講習のご案内

令和8年度の資格更新講習を6月に実施予定です。

●資格更新対象者：令和8年度及び令和9年度に有効期限を迎える資格保有者

資格名	資格更新申請期間	講習日
交通信号工事士	令和8年4月20日～5月22日	6月15日～18日
交通信号設計士	令和8年4月20日～6月12日	7月1日、2日
交通信号監理士		7月8日、9日
交通信号保守診断士		7月14日、15日



▲
資格更新講習
案内

詳細はホームページに掲載されていますので、対象の方は受講をお願いします。

外国人材雇用の支援に向けて（特的人材）

外国人材を雇用するにあたっては、互いの生活文化への理解不足やコミュニケーションの難しさ等、さまざまな課題があります。しかし、多様性を受け入れ、活用することができれば、大きなメリットにつながるのではないのでしょうか。

一方、費用や手続き面において、受け入れる企業側に相当の負担が生じることも事実です。そこで、当協会では、会員の皆様の負担を少しでも軽減できるよう、新たに『特定技能外国人材雇用事業』を準備中です。

正式に事業が始動となりました際には、是非ご活用いただければと思います。

なお、令和7年8月26日、当協会事務局およびオンライン（Zoom）にて、『外国人材活用のメリット&デメリット座談会』を開催いたしました。

長年にわたり外国人材を活用されている、常盤電業株式会社の竹野誠一氏（当協会専務理事）より、ご自身の経験や実績についてお話をいただきました。

今後は、下記のとおり外国人材活用説明会を実施する予定です。少しでもご興味をお持ちでしたら、積極的にご参加いただき、今後の参考としてください。

実施予定日	4月 3日（金）名古屋	4月14日（火）東京
	4月22日（水）大阪	4月28日（火）岡山

令和8年度春季eラーニング講座受講者募集

『2級電気工事施工管理技士』の講座が新設されることとなり、下記5講座を開設いたします。

受講申込期間は、全講座一律で、締切日は3月31日まで延長されております。

また、延長後の受付につきましては、事務局にお問い合わせをお願いします。

資格講座名	受講期間	受講申込期間
第一級陸上特殊無線技士	4月1日～6月10日	2月16日 ～3月31日
第二級陸上特殊無線技士		
1級電気通信工事施工管理技士 （第1次検定）	6月22日～9月6日	
2級電気通信工事施工管理技士 （第1次検定）	4月1日～6月7日	
2級電気工事施工管理技士 （第1次検定）	4月1日～6月14日	

当協会の各eラーニング講座は、約50本の動画（約15分／1動画）で構成され、動画視聴後には理解度チェックが行われます。また、1週間単位で、質問をメールで受け付け、講師が回答するシステムもあり、講座の後半では、過去問題や講師が提示する演習問題、添削課題に取り組んでいただけます。

受講料は民間講座よりも経済的な価格に設定されていますので、是非ご活用ください。



eラーニング
受講案内

令和7年11月13日、高知県香南市物部川河川敷にて、中国四国管区広域緊急援助隊合同訓練（岡山県、広島県、山口県、鳥取県、島根県、愛媛県、香川県、徳島県、高知県の各警察）が実施されました。

今回の訓練には、株式会社豊栄電気工事様、I・T・O株式会社様、株式会社京三製作所様（順不同）に仮設機器の貸与および設置のご協力をいただきました。また株式会社デューイテクニカル様、株式会社町田電気様、株式会社コアテクノ様、株式会社シンコーワ様、日本システム工業株式会社様（順不同）が訓練を参観しました。

合同訓練では、仮設信号機の設置及び信号機滅灯時の給電方法について説明し、停電時の対応として、

- ガソリンエンジンを使用した可搬式発動発電機の操作方法
 - プロパンガスを使用した可搬式発動発電機の使用方法
- 等を実演しました。

高知県は、南海トラフ巨大地震が発生した場合、最大震度7や10メートルを超える大津波に見舞われると予想されており、甚大な被害が懸念されています。そのため、今回の訓練にも非常に熱心に取り組まれました。

なお、高知県警察より、感謝状をご恵与いただける旨のご連絡を頂き、令和8年1月22日に、当協会事務局にて贈呈式が執り行われました。

当日は、高知県警察から交通指導課長他1名にご出席いただき、当協会から川邊理事長ならびに古市副理事長が出席いたしました。



令和8年1月28日、午前7時、京都府南部生駒断層帯(大阪府の枚方市から羽曳野市までほぼ南北に延びる全長約38kmの断層帯で、生駒山地とその西方の大阪平野との境界付近に位置する)を震源とする最大震度7の地震が発生。

おりしも前線の停滞による大雨の影響で山間部の土壌雨量が高まっていることから城陽市内で多数の家屋倒壊、道路の寸断、山間部での土砂崩れ等甚大な被害が発生。

上記のような状況を想定し、令和8年1月28日午後1時から午後4時までの間、大規模災害発生時の迅速かつ的確な災害警備活動を実現する目的で京都府城陽市陸上自衛隊長池演習場にて、近畿管区広域緊急援助隊合同訓練が実施されました。

当協会会員の株式会社デューイテクニカル様、日本システム工業株式会社様(順不同)に仮設機器の貸与および設置のご協力をいただきました。また、株式会社シンコーワ様、株式会社町田電気様、株式会社コアテクノ様、株式会社京三製作所様が訓練を参観しました。

近畿管区(滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山県各警察本部)広域緊急援助隊、陸上自衛隊、京都市消防局、城陽市消防本部、宇治市消防本部、京田辺市消防本部、京都刑務所、京都DMORT(Disaster Mortuary Operational Response Team 災害死亡者支援チーム)、その他機関が参加し、訓練が実施されました。

訓練では、孤立地域への部隊輸送訓練、合同調整所設置運営訓練、現地指揮所設置運営訓練、救出救助訓練、悪路走行訓練、信号機滅灯対策訓練、緊急通行車両標章交付訓練、検視・遺族対応訓練、道路啓開訓練、応急救護所設置訓練、映像撮影・送受信訓練等が実施されました。

訓練の状況は視察団(京都府、京都府議会、京都府公安委員会、城陽市、訓練参加機関の長)が会場を一巡し、訓練の種目や熟練度を熱心に視察していました。



仮設信号機設置状況



警察官への交通信号制御機の操作説明



視察団への訓練説明

広域緊急援助隊合同訓練は、災害時などの非常時に効率よく復旧作業を進めるために必要な訓練ですので、会員の皆様のご協力を賜りますよう、お願いいたします。



令和7年度技能検定資格更新講習

令和7年度の技能検定資格更新講習を、オンラインにて、下記のとおり実施いたしました。

- ◆交通信号工事士 : 6月23日、6月25日、6月26日
- ◆交通信号監理士 : 7月9日、7月10日
- ◆交通信号保守診断士 : 7月16日、7月22日

各資格とも複数日設定されており、いずれか1日を選択、講習時間は最後に設けられている質疑応答を含め2時間30分～3時間実施しました。

●講習内容

職種	講習内容	職種	講習内容
工事士	講義1 ①法令・規則・改正 ②交通信号工事における危険ポイント	監理士	講義1 ①法令・規則・改正 ②交通信号施設の機器、仕様
	講義2 ①交通信号機の設置・運用方式 ②交通信号施設の仕様		講義2 ①現場代理人の注意事項 ②不具合・事故事例
	講義3 交通工学の基礎		講義3 交通工学の基礎
保守診断士	講義1 「保守点検・診断業務の現状、関係法令及び安全管理」 ①保守点検・診断業務の目的、役割、仕事内容 ②保守点検・診断業務に係る法令 ③保守点検・診断業務に係る安全管理		講義2 「保守点検・診断業務に必要な技術知識及び障害対応力」 ①保守点検・診断業務に必要な技術知識 ②保守点検・診断業務に必要な障害対応力 ③音響式交通信号付加装置の機能性能 ④信号制御方式
	講義3 交通工学の基礎		

令和7年度秋季eラーニング講座

陸上特殊無線技士と電気通信工事施工管理技士の令和7年度秋季eラーニング講座を次のとおり開設しました。

- ◆陸上特殊無線技士（1級、2級） : 8月5日～10月16日
- ◆電気通信工事施工管理技士（1級：二次検定） : 10月21日～12月5日
- ◆電気通信工事施工管理技士（2級：一次・二次検定） : 9月2日～11月14日

令和7年度交通信号工事士等技能検定試験

令和7年9月21日、交通信号工事士等技能検定試験を7都市で実施いたしました。

種類	技士	工事士	設計士	監理士	保守診断士	計
受験者数	38	65	5	12	4	124
合格者数	17	32	2	4	1	56

一般社団法人 全信工協会

〒108-0073 東京都港区三田3丁目4番12号三田 MTビル5F
TEL: 03-6659-3586 FAX: 03-6809-5088
ホームページ: <https://zenshinko.jp> E-mail: info@zenshinko.jp



協会ホームページ

※各会員様の連絡担当者等の変更・追加（複数も可能）につきましては、氏名・所属、役職、メールアドレス、電話/FAX番号を全信工事務局までメール（info@zenshinko.jp）にてご連絡頂きますようお願いいたします。